

## 拳ノ川小学校

「確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子」の育成

校長 南 早百合

### ◆はじめに

本校は、本年度3人の入学児童を迎え、全校児童16人で教育活動をスタートさせました。本校は豊かな自然のなかの学校で、花や野菜、芋や米作りなどを楽しみながら学校生活を送っています。

困ったときには、保護者や地域の方がさつと手を差し伸べてくださるようなとても優しく温かい地域です。

児童は、一人一人の個性を大切にしながら学校生活を送っています。伝統的に、学年の枠を越えて仲良く、高学年の児童は低学年の児童に優しく関わっています。元気で気持ちの良いあいさつができて、ていねいな言葉遣いができる児童がほとんどです。一方、苦手なことや気が進まないことに、じっくり落ち着いて取り組み、最後まで自分の力でやり遂げたりすることに課題があります。

### ◆学校教育目標

「確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子」を育てることが本校の学校目標です。

すべての教職員が、指導力、想像力、創造力、組織力を発揮し、チーム学校として「知」「徳」「体」のバランスのとれた質の高い教育を実践し、保護者や地域に愛され、信頼される学校づくりを目指したいと考えています。

### ◆コミュニティ・スクールとして、地域・家庭・学校の三者が連動（連結・協働）した取組の継続

コミュニティ・スクールとしてのあゆみも今年度で12年目となっています。「信頼される学校づくり」拳ノ川の未来を拓く子どもを育てる」というテーマのもとで展開されるコミュニティ活動は、これからも大事にしていきたいと思っています。

「学び・文化」コミュニティの主な取組は、9月の学校・地域合同運動会で披露する拳ノ川地区で300年以上の伝統がある「そばまき踊り」の練習、11月の収穫祭での郷土

料理づくりと子どもたちの課題調べ学習や音楽などの発表です。料理づくりは、子どもたちが保護者や地域の方々の助けをいただいで収穫するもち米やサツマイモなどの食材を使い、保護者や地域の方々に教えていただきながら行います。そして、お餅、栗入りお赤飯、サツマイモの茶巾絞、山芋汁などをみんなで楽しくいただきます。また、5月から始まる若山楮学習も子どもたちにとって大切な取組です。今年度は、高知大学の地域協働学部の学生の皆さんといっしょに楮の世話をする時間もあります。

「自然・環境」コミュニティでは、山の学習、親子自然観察、栗拾い、山芋掘り、そして昨年度に引き続きニラ料理のレシピ作りなどを計画しています。

「健康・福祉」コミュニティでは、田植え・稲刈り、サツマイモ栽培、3世代ふれあい検診、高齢者施設訪問などを行います。豊かな自然を活かしたさまざまな体験や地域の方々との温かいふれあい体験は、子どもたちの心を育み、自然や地域への愛情や感謝の気持ちを育んでくれます。



「あったかふれあいセンター」の利用者の方々といっしょに1・2年生がサツマイモのツル挿しをしました。



「あったかふれあいセンター」を訪問し、3・4年生が作った防災紙芝居の発表をしました。



米・米クラブのみなさんと児童のお祖母さんたちのご協力を得て5・6年生が田植えをしました。

### ◆確かな学力を備えることを目指した取組

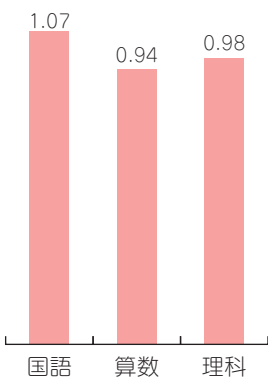
○ユニバーサルデザインに基づく「分かる」「できる」授業づくり  
すべての子どもが「分かる」

「できる」授業を目指し、環境活動内容、教材・教具、評価の工夫などについて、研究を続けていきます。



3・4年生の算数の研究授業の板書

○学力調査の結果  
左のグラフは、4月に実施した標準学力調査の全国通過率です。学力調査の結果を分析し、課題解決や授業改善に取り組んでいきます。今年度もよろしく願います。



## 大方中学校

「二人一人が主体的に活動  
できる学校を目指して」

校長 久保 良高

本校は生徒171人と教職員25人で「心豊かで、たくましく、意欲を持って学ぶ生徒の育成」を教育目標として掲げ、取り組んでいる学校です。

今年度は昨年度までの実践を継承しつつ、次の2つの研究指定を受け日々生徒の健全育成に努めています。

① 探究的な授業づくり  
主な取組内容は以下の3点です。

- 「主体的協働的に学ぶ探究的な授業づくり」
- 総合的な学習の時間（防災・人権・キャリア教育）と各教科との関連や地域との連携（地域に出る・地域の方に来ていただく）
- 図書館資料や新聞を活用し言語活動の充実を図る

以前から取り組んでいる各教科での図書・新聞を活用した授業、朝読書・全学年での新聞づくりとコンクールへの応募・生徒による新聞社への記事投稿などは、継続して行い、今年度はさらに「生徒が

主体的・協働的に学ぶ授業づくり」を進めるための取組として、各教科の授業では、「生徒が考えたくなるような学習課題の工夫」「個人でじっくり考える時間の確保と、仲間とのかかわりの中で考えを深めていける活動を取り入れる」「毎時間のふり返りをしっかりと行う」ことに取り組んでいます。

また総合的な学習の時間においては、各学年地域から学ぶ機会を大事にしています。1学期に1、2年生は防災学習フィールドワークで、避難場所の確認や過去の地震、津波についても地元の方から学ぶ機会を持ちました。3年生は、職場体験学習に取り組み、地域のさまざまな事業所でお世話になり貴重な体験をすることができました。

今年度は、これらの日々の学習の成果を「学習発表会」という形で3回行うことを計画しています。2学期は文化祭と兼ねていますので、ぜひ多くの地域の方々にも参加していただきたいと思います。

### 平成28年度標準学力調査結果（全国を1とする）

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	1.03	1.02	1.03	1.06	
2年	0.99	0.92	0.89	1.00	0.77
3年	1.11	1.05	0.98	0.98	1.03

※3年の国・数は全国学力調査の県平均比で表しています。



過去の地震の調査

#### ② 夢実現プロジェクト

「子どもたちの自尊感情を高めることによる落ち着いた温かみのある学校作り」を目指した取組です。

- 重点的な目標としては  
人と大切にし、話をきちんと聴く
- 時間を守る（ノーチャイム）

#### ○ 生徒会活動の活性化

○ 規範意識を育てる  
本校ではこれらことを目指し、昨年度は学校をきれいにする掃除に一生懸命取り組みました。そのおかげで廊下や教室など学校環境がきれいになり、外部から来られた方にもお褒めの言葉をいただくようになりました。

また、今年度からは時間を守ることを大切に、ノーチャイムを実施しています。そのため、現在大方中学校では基本的にチャイムが鳴りません。最初は時間どおりに生徒が動くことができなかった。しかし、子どもたちは時間を気にしながら、1分前行動をしっかりと行うことができています。

全校集会においても時間前に集合することが習慣となり、人が話をしているときには本当に体育館の中が物音ひとつしない状態で集会が行われるようになりました。

また、専門委員会では月ごとに目標を決め取り組んでいます。その振り返りを月末に行っています。そしてこの専門委員会の発表方法を工夫しようとしています。ポスターを製作したり、パワーポ

イントでアンケート結果を発表したりなど、少しずつ工夫された発表が増えてきました。2学期は地域や保護者の方に向けて発表もしていきたいと思えます。



生徒会専門部の発表

#### ◆ 地域貢献

大方中学校では地域に貢献をしようというボランティア組織「元気会」を編成しています。活動ごとに参加者を募り、地域に出てボランティア活動を行います。今年6月には大方球場の芝植えなどの活動にも参加しました。これからは地域の一員として地域の活動にも参加し、地域からも大切にされる中学校を目指していきます。